

- ※1 高田衛『江戸の悪霊祓い師』（筑摩書房、平成三年）
- ※2 関山和夫『死霊解脱物語聞書』の研究』（日本佛教學會年報）56）
- ※3 拙著『顯嘗祐天の伝記』（『大正大学大学院研究論集』十九、二二〇頁）
- ※4 『略記』は釋勤息著『武州佐原郡目黒野明顯山善久院祐天寺開山前大僧正明運社顯嘗上人祐天大和尚傳略記』（祐天寺藏）、「実録下書」は釋森寛著『祐天大僧正実録』（草稿本）、「実録清書」は上と同一題であるが内容が異なる。『檀通書附』は顯阿・祐海らの記した『鎌倉光明寺檀通上人御腹内書附』、『開山行状』は芝西応寺玄雅校『開山大僧正祐天尊者行状中興開創祐海大和尚畧伝』、『行状記』は作者不詳『祐天大僧正行状記』のそれぞれ略称で、発行または制作年は表一のとおりである。
- ※5 全道述『祐天大僧正御伝記』
- ※6 残寿『死霊解脱物語聞書』（元禄三年、正徳二年）
- ※7 『江戸名所図絵』祐天寺の項に、「世に知る所の累が怨霊解脱の誉は尤も著し。〔割注〕（前略）怨霊解脱物語といへる冊子に詳なり」とある。
- ※8 一相無切有居士『祐天上人一代記』
- ※9 『いわき史料集成』五
- ※10 千鹿野茂『日本家紋総監』二二二頁
- ※11 『いわき市史』七、草野日出雄『写真で綴るいわきの講と野仏』など。
- ※12 『浄全』十九、三七三頁
- ※13 『いわき市史』二、七四頁
- ※14 『いわき市史』七、三九四頁
- ※15 『増上寺史料集』一、一一八頁
- ※16 『貞享二年の定書及下知状』（『浄全』二十、五八三頁）
- ※17 『年中行事』（『増上寺史料集』二、二六頁）
- ※18 『浄全』二十、六三〇頁
- ※19 『彌谷白蓮社忍叢和尚行業記』（『浄全』十八、一頁）
- ※20 『浄全』二十、六三五頁
- ※21 長谷川匡俊『増上寺所蔵入寺帳の研究』二（『仏教と社会事業と教育』二一九頁）
- ※22 『檀通和尚遺骨舍利』（『新著聞集』往生篇第十三）
- ※23 『浄土宗史』（『浄全』二十、六三七頁）
- ※24 『増上寺史料集』一、一五六頁
- ※25 祐天写『浄土随意法門要尺』（祐天寺藏）
- ※26 『増上寺入寺帳の研究』二、三三三頁
- ※27 『増上寺入寺帳の研究』一（『長谷川仏教文化研究所研究年報』九、一六頁）
- ※28 『浄土宗宗義講録（仮題）』（『三康図書館藏』）
- ※29 『緑山志』七（『浄全』十九、三九九頁）
- ※30 『浄土宗史』（『浄全』二十、六五四頁）
- ※31 『増上寺史料集』一、二九六頁
- ※32 『増上寺史料集』一、二〇二頁
- ※33 『常憲院殿御実記』貞享二年九月二十八日の項、『浄土伝灯絵承譜』中（『浄全』十九、七六頁）
- ※34 『常憲院殿御実記』貞享三年三月二十日の項
- ※35 『増上寺史料集』一、一六五頁
- ※36 『増上寺史料集』一、二〇一頁
- ※37 『増上寺史料集』一、二〇五頁

- ※ 38 『浄土宗大年表』五〇四頁
- ※ 39 『靈山寺志』(『浄全』二十、二八二頁)
- ※ 40 『筑後善導寺志』(『浄全』二十、四五二頁)
- ※ 41 『浄源脈譜』(『浄全』十九、それぞれ一六二、一六〇、一五九、一五七頁)
- ※ 42 『常憲院殿御実記』貞享三年六月八日の項
- ※ 43 『常憲院殿御実記』貞享三年三月二十八日の項
- ※ 44 『浄土伝灯総系譜』(『浄全』十九、それぞれ八〇、七五、五四、八一、七六頁)
- ※ 45 『増上寺史料集』七、一四二～一四三頁